

議案第 3 1 号

矢巾町農業委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて

矢巾町農業委員会の委員に次の者を任命したいので、農業委員会等に関する法律（昭和26年法律第88号）第8条第1項の規定により、議会の同意を求める。

令和6年3月18日提出

矢巾町長 高 橋 昌 造

記

住 所

氏 名

議案第 3 2 号

矢巾町農業委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて

矢巾町農業委員会の委員に次の者を任命したいので、農業委員会等に関する法律（昭和26年法律第88号）第8条第1項の規定により、議会の同意を求める。

令和6年3月18日提出

矢巾町長 高 橋 昌 造

記

住 所

氏 名

議案第 33 号

矢巾町農業委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて

矢巾町農業委員会の委員に次の者を任命したいので、農業委員会等に関する法律（昭和26年法律第88号）第8条第1項の規定により、議会の同意を求める。

令和6年3月18日提出

矢巾町長 高 橋 昌 造

記

住 所

氏 名

議案第 3 4 号

矢巾町農業委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて

矢巾町農業委員会の委員に次の者を任命したいので、農業委員会等に関する法律（昭和26年法律第88号）第8条第1項の規定により、議会の同意を求める。

令和6年3月18日提出

矢巾町長 高 橋 昌 造

記

住 所

氏 名

議案第 35 号

矢巾町農業委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて

矢巾町農業委員会の委員に次の者を任命したいので、農業委員会等に関する法律（昭和26年法律第88号）第8条第1項の規定により、議会の同意を求める。

令和6年3月18日提出

矢巾町長 高 橋 昌 造

記

住 所

氏 名

議案第 3 6 号

矢巾町農業委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて

矢巾町農業委員会の委員に次の者を任命したいので、農業委員会等に関する法律（昭和26年法律第88号）第8条第1項の規定により、議会の同意を求める。

令和6年3月18日提出

矢巾町長 高 橋 昌 造

記

住 所

氏 名

議案第 37 号

矢巾町農業委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて

矢巾町農業委員会の委員に次の者を任命したいので、農業委員会等に関する法律（昭和26年法律第88号）第8条第1項の規定により、議会の同意を求める。

令和6年3月18日提出

矢巾町長 高 橋 昌 造

記

住 所

氏 名

議案第 38 号

矢巾町農業委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて

矢巾町農業委員会の委員に次の者を任命したいので、農業委員会等に関する法律（昭和26年法律第88号）第8条第1項の規定により、議会の同意を求める。

令和6年3月18日提出

矢巾町長 高 橋 昌 造

記

住 所

氏 名

議案第 39 号

矢巾町農業委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて

矢巾町農業委員会の委員に次の者を任命したいので、農業委員会等に関する法律（昭和26年法律第88号）第8条第1項の規定により、議会の同意を求める。

令和6年3月18日提出

矢巾町長 高 橋 昌 造

記

住 所

氏 名

議案第 4 0 号

矢巾町農業委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて

矢巾町農業委員会の委員に次の者を任命したいので、農業委員会等に関する法律（昭和26年法律第88号）第8条第1項の規定により、議会の同意を求める。

令和6年3月18日提出

矢巾町長 高 橋 昌 造

記

住 所

氏 名

議案第 4 1 号

矢巾町農業委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて

矢巾町農業委員会の委員に次の者を任命したいので、農業委員会等に関する法律（昭和26年法律第88号）第8条第1項の規定により、議会の同意を求める。

令和6年3月18日提出

矢巾町長 高 橋 昌 造

記

住 所

氏 名

議案第 4 2 号

矢巾町農業委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて

矢巾町農業委員会の委員に次の者を任命したいので、農業委員会等に関する法律（昭和26年法律第88号）第8条第1項の規定により、議会の同意を求める。

令和6年3月18日提出

矢巾町長 高 橋 昌 造

記

住 所

氏 名

議案第 4 3 号

矢巾町農業委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて

矢巾町農業委員会の委員に次の者を任命したいので、農業委員会等に関する法律（昭和26年法律第88号）第8条第1項の規定により、議会の同意を求める。

令和6年3月18日提出

矢巾町長 高 橋 昌 造

記

住 所

氏 名

議案第 4 4 号

矢巾町農業委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて

矢巾町農業委員会の委員に次の者を任命したいので、農業委員会等に関する法律（昭和26年法律第88号）第8条第1項の規定により、議会の同意を求める。

令和6年3月18日提出

矢巾町長 高 橋 昌 造

記

住 所

氏 名

議案第 4 5 号

矢巾町農業委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて

矢巾町農業委員会の委員に次の者を任命したいので、農業委員会等に関する法律（昭和26年法律第88号）第8条第1項の規定により、議会の同意を求める。

令和6年3月18日提出

矢巾町長 高 橋 昌 造

記

住 所

氏 名

議案第 4 6 号

矢巾町農業委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて

矢巾町農業委員会の委員に次の者を任命したいので、農業委員会等に関する法律（昭和26年法律第88号）第8条第1項の規定により、議会の同意を求める。

令和6年3月18日提出

矢巾町長 高 橋 昌 造

記

住 所

氏 名

## 議案第 4 7 号

### 古舘橋橋梁補修その 2 工事請負契約の締結について

古舘橋橋梁補修その 2 工事請負に関し、次のとおり契約を締結するため、地方自治法（昭和22年法律第67号）第96条第 1 項第 5 号及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例（昭和39年矢巾町条例第 8 号）第 2 条の規定により、議会の議決を求める。

- |   |         |                                                      |
|---|---------|------------------------------------------------------|
| 1 | 工 事 名   | 古舘橋橋梁補修その 2 工事                                       |
| 2 | 工 事 場 所 | 紫波郡矢巾町大字北郡山地内                                        |
| 3 | 契約の方法   | 条件付一般競争入札による工事請負契約                                   |
| 4 | 契 約 金 額 | 8 2, 5 0 0, 0 0 0 円（税込）                              |
| 5 | 契約の相手方  | 紫波郡矢巾町大字南矢幅第 6 地割 606 番地<br>百万石建設株式会社<br>代表取締役 水 本 慶 |

令和 6 年 3 月 18 日提出

矢巾町長 高 橋 昌 造

議案第 4 8 号

矢巾町税条例の一部を改正する条例について

矢巾町税条例（昭和30年矢巾町条例第23号）の一部を次のように改正する。

令和 6 年 3 月 18 日 提出

矢巾町長 高 橋 昌 造

矢巾町税条例の一部を改正する条例

矢巾町税条例（昭和30年矢巾町条例第23号）の一部を次のように改正する。

| 改正前                                   | 改正後                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|---------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>附 則</p> <p>第5条 〔略〕</p> <p>〔新設〕</p> | <p>附 則</p> <p>第5条 〔略〕</p> <p><u>（令和6年能登半島地震災害に係る雑損控除額等の特例）</u></p> <p><u>第5条の2 所得割の納税義務者の選択により、法附則第4条の4第4項に規定する特例損失金額（以下この項において「特例損失金額」という。）がある場合には、特例損失金額（同項に規定する災害関連支出がある場合には、第3項に規定する申告書の提出の前日までに支出したものに限り。以下この項及び次項について「損失対象金額」という。）について、令和5年において生じた法第314条の2第1項第1号に規定する損失の金額として、この条例の規定を適用することができる。この場合において、第35条の2の規定により控除された金額に係る当該損失対象金額は、その者の令和7年度以後の年度分で当該損失対象金額が生じた年の末日の属する年度の翌年度分の町民税に係るこの条例の規定の適用については、当該損失対象金額が生じた年において生じなかったものとみなす。</u></p> <p><u>2 前項前段の場合において、第35条の2の規定により控除された金額に係る損失対象金額のうち同項の規定の適用を受けた者と生計を一にする令第48条の6第1項に規定する親族の有する法附則第4条の4第4項に規定する資産について受けた損失の金額（以下この項において「親族資産損失額」という。）があるときは、当該親族資産損失額は、当該親族の令和7年度以後の年度分で当該親族資産損失額が生じた年の末日の属する年度の翌年度の分の町民税に係るこの条例の規定の適用については、当該親族資産損失額が生じた年において生じなかったものとみなす。</u></p> <p><u>3 第1項の規定は、令和6年度分の第37条の2第1項又は第4項の規定による申告書（その提出期限後において町民税の納税通知書が送達される時までに提出されたもの及びその時までに</u></p> |

|                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>(特定一般用医薬品等購入費を支払った場合の医療費控除の特例)</p> <p>第6条 平成30年度から令和9年度までの各年度分の個人の町民税に限り、法附則第4条の4第3項の規定に該当する場合における第35条の2の規定による控除については、その者の選択により、同条中「同条第1項」とあるのは「同条第1項(第2号を除く。)」と、「まで」とあるのは「まで並びに法附則第4条の4第3項の規定により読み替えて適用される法第314条の2第1項(第2号に係る部分に限る。)」として、同条の規定を適用することができる。</p> | <p><u>提出された第37条の3第1項の確定申告書を含む。)</u>に第1項の規定の適用を受けようとする旨の記載がある場合(これらの申告書にその記載がないことについてやむを得ない理由があると町長が認める場合を含む。))に限り、適用する。</p> <p>(特定一般用医薬品等購入費を支払った場合の医療費控除の特例)</p> <p>第6条 平成30年度から令和9年度までの各年度分の個人の町民税に限り、法附則第4条の5第3項の規定に該当する場合における第35条の2の規定による控除については、その者の選択により、同条中「同条第1項」とあるのは「同条第1項(第2号を除く。)」と、「まで」とあるのは「まで並びに法附則第4条の5第3項の規定により読み替えて適用される法第314条の2第1項(第2号に係る部分に限る。)」として、同条の規定を適用することができる。</p> |
| <p>備考 改正箇所は改正前欄及び改正後欄の下線部分の規定であり、〔 〕の記載は注記である。</p>                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

議案第 4 9 号

矢巾町職員定数条例の一部を改正する条例について

矢巾町職員定数条例（平成 2 年矢巾町条例第 5 号）の一部を次のように改正する。

令和 6 年 3 月 18 日提出

矢巾町長      高   橋   昌   造

矢巾町職員定数条例の一部を改正する条例

矢巾町職員定数条例（平成２年矢巾町条例第５号）の一部を次のように改正する。

| 改正前                                         |             | 改正後                  |             |
|---------------------------------------------|-------------|----------------------|-------------|
| (職員の定数)                                     |             | (職員の定数)              |             |
| 第２条 職員の定数は、次のとおりとする。                        |             | 第２条 職員の定数は、次のとおりとする。 |             |
| 区分                                          | 定数          | 区分                   | 定数          |
| 町長部局の職員                                     | <u>134人</u> | 町長部局の職員              | <u>153人</u> |
| 〔略〕                                         |             | 〔略〕                  |             |
| 教育委員会所属の職員                                  | <u>45人</u>  | 教育委員会所属の職員           | <u>26人</u>  |
| 〔略〕                                         |             | 〔略〕                  |             |
| 備考 改正箇所は改正前欄及び改正後欄の下線部分の規定であり、〔 〕の記載は注記である。 |             |                      |             |

附 則

この条例は、令和６年４月１日から施行する。

議案第 5 0 号

矢巾町公共下水道条例の一部を改正する条例について

矢巾町公共下水道条例（平成12年矢巾町条例第31号）の一部を次のように改正する。

令和 6 年 3 月 18 日 提出

矢巾町長      高   橋   昌   造

矢巾町公共下水道条例の一部を改正する条例

矢巾町公共下水道条例（平成12年矢巾町条例第31号）の一部を次のように改正する。

| 改正前                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 改正後                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>（指定の申請）</p> <p>第11条 前条第1項に規定する指定を受けようとする者は、規則で定めるところにより、次に掲げる書類を添付して事業管理者に申請しなければならない。</p> <p>（1） <u>住民票記載事項証明書若しくは登録原票記載事項証明書又は印鑑登録証明書（法人にあっては、登記事項証明書、定款の写し及び代表者の住民票記載事項証明書若しくは登録原票記載事項証明書又は印鑑証明書）</u></p> <p>（2） 〔略〕</p> <p>（3） <u>次条第1項第4号アに該当しないことを証する書類（法人にあっては、役員全員の同号アに該当しないことを証する書類）</u></p> <p>（4） 〔略〕</p> <p>（5） <u>専属する排水設備責任技術者（財団法人岩手県下水道公社の排水設備責任技術者名簿に登録されている者をいう。以下同じ。）の名簿、当該排水設備責任技術者に係る排水設備責任技術者証の写し及び当該排水設備責任技術者との雇用関係を証する書類</u></p> <p>（6）・（7） 〔略〕</p> <p>（指定の基準）</p> <p>第12条 事業管理者は、前条の規定による申請をした者が次の各号のいずれにも適合していると認めたときは、第10条第1項に規定する指定を行う。</p> <p>（1） <u>県内に事業所を有する者であること。</u></p> <p>（2） <u>事業所に専属する排水設備責任技術者を1人以上置く者であること。</u></p> | <p>（指定の申請）</p> <p>第11条 前条第1項に規定する指定を受けようとする者は、規則で定めるところにより、次に掲げる書類を添付して事業管理者に申請しなければならない。</p> <p>（1） <u>法人にあっては、定款又は寄付行為及び登記事項証明書、個人にあってはその住民票、在留カード（出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）第19条の3に規定する在留カードをいう。）又は特別永住者証明書（日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法（平成3年法律第71号）第7条第1項に規定する特別永住者証明書をいう。）の写し</u></p> <p>（2） 〔略〕</p> <p>（3） <u>次条第1項第4号アからオまでのいずれにも該当しないものであることを誓約する書類</u></p> <p>（4） 〔略〕</p> <p>（5） <u>選任する排水設備責任技術者（公益財団法人岩手県下水道公社の排水設備責任技術者名簿に登録されている者をいう。以下「責任技術者」という。）の名簿、当該責任技術者に係る責任技術者証の写し及び当該責任技術者との雇用関係を証する書類</u></p> <p>（6）・（7） 〔略〕</p> <p>（指定の基準）</p> <p>第12条 事業管理者は、前条の規定による申請をした者が次の各号のいずれにも適合していると認めたときは、第10条第1項に規定する指定を行う。</p> <p>（1） <u>岩手県内に事業所を有する者であること。</u></p> <p>（2） <u>事業所ごとに第11条5号の規定により責任技術者として登録を受けた者を選任していること。ただし、同一都道府県の区域内における他の事業所について兼任することを妨げな</u></p> |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>(3)・(4) 〔略〕</p> <p>2 〔略〕</p> <p>(<u>排水設備責任技術者</u>の職務等)</p> <p>第13条 <u>工事店に専属する排水設備責任技術者</u>は、次に掲げる職務を誠実に行わなければならない。</p> <p>(1)～(4) 〔略〕</p> <p>2 <u>排水設備責任技術者</u>は、排水設備等の新設等の工事の業務に従事するときは、常に<u>排水設備責任技術者証</u>を携帯し、町職員等の請求があったときは、これを提示しなければならない。</p> <p>(変更の届出等)</p> <p>第16条 工事店は次の各号のいずれかに該当したときは、規則で定めるところにより、直ちに事業管理者に届け出なければならない。</p> <p>(1)～(3) 〔略〕</p> <p>(4) <u>専属する排水設備責任技術者</u>に異動があったとき。</p> <p>2 〔略〕</p> | <p><u>い。</u></p> <p>(3)・(4) 〔略〕</p> <p>2 〔略〕</p> <p>(<u>責任技術者</u>の職務等)</p> <p>第13条 <u>責任技術者</u>は、次に掲げる職務を誠実に行わなければならない。</p> <p>(1)～(4) 〔略〕</p> <p>2 <u>責任技術者</u>は、排水設備等の新設等の工事の業務に従事するときは、常に<u>責任技術者証</u>を携帯し、町職員等の請求があったときは、これを提示しなければならない。</p> <p>(変更の届出等)</p> <p>第16条 工事店は次の各号のいずれかに該当したときは、規則で定めるところにより、直ちに事業管理者に届け出なければならない。</p> <p>(1)～(3) 〔略〕</p> <p>(4) <u>選任する責任技術者</u>に異動があったとき。</p> <p>2 〔略〕</p> |
| 備考 改正箇所は改正前欄及び改正後欄の下線部分の規定であり、〔 〕の記載は注記である。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |

附 則

この条例は、令和6年4月1日から施行する。

## 矢巾町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

矢巾町選挙管理委員会委員及び補充員の任期は、令和6年3月25日をもって満了するので、地方自治法（昭和22年法律第67号）第182条第1項及び第2項の規定により選挙を行う。

令和 6 年 3 月 1 8 日

矢巾町議会議長 廣 田 清 実